



心の教育をめざす長房小学校

校長 川村 和人

入学を待っていたかのような桜吹雪と春らしい暖かい日差しの中、2年生から6年生までの進級と新しい1年生24名の仲間入りを喜びながら、令和5年度をスタートすることができました。目を輝かせて元気あふれる子どもたちを迎え、私たち教職員一同も決意を新たにしています。

令和元年度末以降の新型コロナウイルス感染症の終息が見られることとなってきましたが、個々人の感染対策への心構えは大切です。大人も子どもも今、自分でできること・すべきことは何かを考えるとともに、例年通りに戻れない、できないことはすべてマイナスでなく、プラスの面も考慮しながら「発想の転換」が大事であると考えます。そして、「Withコロナ禍の新しい学校生活」を送ってきた子どもたちには、「学びを辞めない」という自信と友達や様々な支えとなった人々との絆、一緒に学び合える喜びを実感できたことも、一つの事実として残ると考えられます。正に、「主体的・対話的で深い学び」の体現でありましたが、今後も経験したことのない大きな変化に次々と直面するものと予想できます。

引き続き私は、校長として、情報化やグローバル化等急激な社会的変化、人的や自然的な不測の事態及び災害等があっても、学校は子どもたちの安全を守るとともに、未来の創り手として必要な学ぶ力や人と共に知識を生かす力を身に付けさせることが最も重要な責務であり、使命であると考えています。

そこで、今年度の学校経営方針を以下のようにお示しして、子どもも大人も共にみなが参加し、共に知恵を出し合う新たな創造に向けて、地域の中で感じ、考え、行動するという「地域がステージの学び」をめざしてまいります。

<本校の学校教育目標>

◎よく考えやりぬく子 ○じょうぶで明るい子 ○なかよく助け合う子

【言われてうれしい言葉をつかい、みんなと仲良く助け合い、学ぶ喜びを体得し、地域と共に歩む学校】を基に、人との関わりを児童のよりよい成長につなげる教育をめざす。

①めざす子ども像と長房中学校グループ（長房中・長房小・船田小）の児童・生徒像

○自分の考えをもち、よく考えやりぬく子（自ら問いをもち、仲間と共に学ぶ子）

⇒グループ「学習を大切にする子」・・・【問題解決力】

○健康安全に気を付けじょうぶで明るい子（自他の健康安全・運動等の向上に挑戦する子）

⇒グループ「体を動かすことを大切にする子」・・・【学びへの実践力と調整力】

○豊かな心をもち、なかよく助け合う子（命と真心を大切にし、すすんで人の役に立つ子）

⇒グループ「自他を大切にする子」・・・【人間関係形成力】

◎義務教育終了後、『社会の中でよりよく生きようとする子』の育成をめざす。

②めざす学校像

○子どもが落ち着いて学べる学校（児童が、できる楽しさ・分かる楽しさを味わう学校）

○子どもが安心して生活できる学校（認められる楽しさを味わう学校）

○地域から親しまれ信頼される学校（保護者・地域住民の方々が、児童を安心して通学させ、自らも参画する学校）

③めざす教師像

【目をかけ、声をかけ、手をかけ、心をかけ、適切に時・人をかける】5かけ指導

○常に明るい笑顔で未来に生きる子どもたちの力を最大限に伸ばそうと前向きに挑戦する教師。

○一人ひとりが分掌のリーダー、フォロワーになりチーム力で学校を創っていく教師。

○地域運営学校の一員として、保護者・地域の方と一緒に子どもたちの力を育むために連携を図っていく教師。



令和5年4月3日

保護者の皆様

八王子市立長房小学校
校長 川村 和人

令和5年度当初のマスク着用における考え方の見直しについて

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さてこの度、八王子市教育委員会から新年度からのマスク着用の方針が示されましたので、対応をお知らせします。よろしくお願いいたします。

1 基本的な考え方

(1) 児童及び教職員は、マスクの着用を求めないことを基本とする。

※校外学習等において、医療機関や高齢者施設等を訪問する場合などは、児童及び教職員はマスクを着用する。

2 入学式の実施に当たっての留意事項

(1) 児童及び教職員は、マスクの着用を求めないことを基本とする。

※アクリルパーテーションは、演台に設置した上で実施する。

●国歌斉唱及び歌唱や呼びかけは、体の中心から前方1m程度、左右50cm程度を目安とした距離を確保した上で実施する。

(2) 来賓や保護者等についてマスクの着用を求めないことを基本とする。

●着席を基本とし、座席間に触れ合わない程度の距離を確保した上で、感染対策上での参加人数の制限はしない。

3 基本的な感染症対策について

(1) 日々の健康観察

・ホーム&スクールの検温報告で、登校時の児童の検温結果及び健康状態を把握する。

・新1年生については、入学の際に配布する「健康観察カード」に検温結果を記載して、提出してください。なお、ホーム&スクールに登録されるまで「健康観察カード」を使用します。

(2) 手洗い、せきエチケット、清掃等

・学校内での接触感染を避けるため、手洗いを徹底する。

・感染症を他者に感染させないために、せきエチケットを徹底する。

・清掃により清潔な空間を保ち、健康的な生活により児童の抵抗力を高める。

(3) 効果的な換気

・気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに(30分に1回以上、数分間程度、窓を全開)、2方向の窓を同時に開けて換気を行う。

(4) 給食時における対策

・食事の前後の手洗いを徹底するとともに、喫食時は飛沫を飛ばさないように注意する。

・適切な換気を確保するとともに、大声での会話は控える。対面して喫食する場合は、児童の間に一定の距離(1m程度)を確保できれば、「黙食」はしない。

4 マスク着用に関する偏見や差別への指導について

(1) 様々な事情により、マスクの着用を希望する児童や、反対にマスクができない児童へは、マスクの着脱を強制しない。

(2) マスク着用の有無による、差別や偏見がないよう適切に指導する。